

特殊詐欺被害急増中！

令和2年7月31日現在、三重県内の特殊詐欺被害(暫定)

発生件数 69件 前年より +25件 増加

被害額 約1億9,530万円 前年より 約+1億2,460万円 増加

今、多く発生している手口について

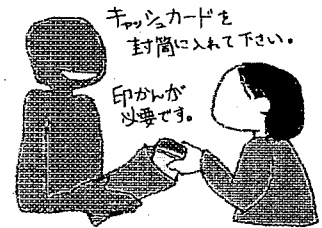
① キャッシュカードをだましとる手口

「警察官」や「金融機関職員」等を装う犯人が自宅を訪問してキャッシュカードをだましとる。



② キャッシュカードを盗みとる手口

「警察官」や「金融庁職員」等を装う犯人が自宅を訪問し、持参した封筒にキャッシュカード等を入れさせ、「封印をするので印鑑を用意して欲しい」と言い、印鑑を取りに行っている隙に...別の封筒にすり替えて、盗みとる。



だまされる前に、まずは対策

自分は大丈夫と
思っていませんか？

対策① 1度、電話を切る

1度、電話を切り、こちらから警察や金融機関に確認するといい電話を切りましょう。おかしいなと思ったら、すぐに相談しましょう。

対策② 留守番電話に設定

詐欺被害防止のために、常時、留守電に設定しておくことが効果的
メッセージを「特殊詐欺対策のため録音しています」等と変更すると更に効果的

対策③ 自動通話録音警告機の設置

- ① かけてきた相手に通話を録音すると伝える。
- ② 電話にでると通話内容を録音

警察では自動通話録音警告機の無料貸出し、防犯協会では同機の販売斡旋をしています。

